

開成の杜

第80号 ● 2009年9月30日 ● 郡山女子大学大学院 ● 郡山女子大学 ● 郡山女子大学短期大学部 ● 郡山女子大学附属高等学校 ● 郡山女子大学附属幼稚園

● 発行所／学校法人郡山開成学園〒963-8503 郡山市開成3丁目25番2号 ☎024(932)4848(代) <http://www.koriyama-kgc.ac.jp> ● 発行人／学園長 関口富左



学校法人郡山開成学園全景

(開成山公園を含む)

季節は容赦なく人の心を左右するものである。晴天に、雨もよりの空に。その時の自分の気持ち、心の持ちようであるが……。いつも元気!!と、健康である喜びは大きい。

学園に生き、若い元気な人達に囲まれていることは、生きる最高の喜びと言えよう。

朝の「おはよう!」時には「元気?」と声をかけたりすると、「瞬間自分がその人と一つになったようで、身体が快哉を叫びたくなる。まして、若い、元気な学生の姿に接しての思いは格別である。」



学園長 関口 富左

かつて、私も若く元気であった頃を思い出すと、「……そうだったかしら?」と自分の心が瞬時若返るようで嬉しい。

人と人との接することの思いはさまざまであるが、私は終生の仕事として若い皆さんに会い、人生の大方ともいえる時の中で共に居る。こんな楽しいことがあるかしら!!と、一瞬心が晴れやか

共に暮らす喜びを
ありがとう!!

になり、幸福感に包まれる。

若い時の美しさは格別である。若いということの貴重さは、何ものにも代え難い。元気だ、心が温かく楽しい……などと考えることは、歳を重ねるとなんとなく仕事のこと、対人とのこと、などなどが入り込み、彼方へ追いやられてしまいがちになる。

若い人の美しさ!!健康で元気な若人の姿は、貴重なことで尊い。かつては自分もそんな時があったらしいと秘かに思ったりして懐かしむこともある。

元気な、美しい若人と接していることの喜びは大きい。それを改めて意識し、生きる喜びを感じる。こんな思いは自分だけで秘かに思うことであらうが、時を共に暮らす人が居ることを喜びと共に、満足している。

全学生の皆さん!!全生徒の皆さん!!健康な若さ漲る今日の時を十分に、精一杯勉めること。若いことは宝!!若さの尊さ!!今日を楽しく、意義深く、お元気!!私もあやかっ!!

健康な学生・生徒・園児の皆さん、共に暮らす喜びをありがとう!!今日を大切に!!

教育内容の充実と教員の資質向上を目指して

第四十六回学園教育充実研究会開催



講演する第二学部長代理

第四十六回学園教育充実研究会が八月十八日、十九日の両日、建学記念講堂小ホールを主会場に、学園全教職員の参加をもって開催された。

本研究会は昭和四十四年に学校法人郡山開成学園の建学の精神に基づき発足して以来、学園教育の充実と発展を目的に継続的に教育の研究を積み重ねてきたものである。

近年、高等教育のユニバーサル化や「学士力」向上の要請を受けて、教育成果の客観的、総合的な評価が求められている。本研究会はこの点にかなってより着目し、授業実践に焦点を当て、その内容や評価について多角的な検討を重ねてきた。本年度も講演と授業実践報告を核として、教育内容の充実と教員の資質向上を目指すものである。

初日の全体会では、はじめに開成学園長代理・学園理事長が「本研究会も四十六回を迎えることとなった。学園の教育内容について一昨今、は漸くFD、SDとして社会的に議論され始めているが、これを本学においては従来より継続的に議論していったというところは誇りとしてよいし、この成果を社会に広めて行ければと思う。教育を充実させていくこと、これこそが私たちの最大の使命である。特に今回は、事務局の職員方にも全

員の参加を頂いている。二日間の研究会を通して教育の現状を把握し、組織全体として教育のサポートをより一層充実させていくて頂きたい」と挨拶した。

続いて東海大学の吉川政夫氏により「授業の道具箱」―教育充実への取り組み、学生と教師に対する支援―と題して講演が行われた。吉川氏は先ず健康心理学におけるヘルスプロモーションのための行動変容の観点から、個人・社会、教育を変える「上流、中流、下流アプローチ」の考え方を紹介し、「教育を変えるためには、下流すなわち授業などを通して個人の姿勢だけでは不十分であり、上流や中流すなわち国や社会、家族や学校、地域社会などにも目を向ける必要がある」と指摘した。

その後、生涯発達・生涯学習社会を見通した教育活動について概念を整理した後、教育の視点から見た現代の子どもの大人の問題点を考察し、「自己愛社会が自己愛人間を作っている。欲求は親や先生が満たしてくるため、社会的ルールが教える。これ、乳児期のような自己愛から抜けきれない。こうした自己愛パーソナリティへの対処には、自由と規律のバランスが大切だ。健康な人格とは自分の生活を意識的にコントロールできること。『現在を生き延びる』ことであると考えられている。適度のストレス体験や自己効力感の育成、自他を尊重した上手な自己主張、そして礼儀や人権尊重を身をもって教育することが必要だ。合わせて現代の変化の速さや激しさを考えると、スローライフな社会に変えていくといった上流からのアプローチも必要だろう」と述べた。

さらに東海大学における教育支援に向けた様々な取り組みについて紹介とともに、運動場の方の考え方を取り入れたティーチングの取り組み、学習の動機付けを高める方法、スポーツ指導者のコーチングスキルについても氏の研究成果を交えつつ解説がなされた。最後に「コミュニケーションに大切なのは信頼関係だ。信頼関係があればコミュニケーション効率は飛躍的に高まる。コミュニケーション作りは人間関係作りであると言える」と締め括った。



講演する吉川政夫東海大学教授

その後、授業実践発表が行われた。まず短大幼児教育学科・須田良子教授が「保育内容指導法(生活と環境)―幼少期における自然体験の意義を理解する」を、続いて附属高等学校地理歴史公民科・藤田健教諭・堀田雅明教諭による「平安京と律令制の再編」の報告が行われ、それぞれ本研究会に先立って行われた公開授業の内容を、映像を交え紹介しながら授業の実践と授業評価についての報告が行われた。



委員会報告を行う山田若穂教授



教育実践報告を行う藤田健教諭



教育実践報告を行う須田良子教授

に分かれて、講演や授業実践発表の内容、日々の授業の課題点などについて教員とともに活発な意見交換を行なった。

分科会の後、全体会が行われ、分科会の討議内容の一部が紹介された。最後に開成理事長から「教育とは何かについて様々な角度から検討がなされたと思う。これから教員各自が教育改善のため吟味を加え、さらに事務局においても教育をどうサポートしていくのか、検討を進める必要がある。一つの組織体として、全員が協力してより良い教育を作り上げていくことが求められている。歴史的に見ても、わが国では『評価文化』が育っているとは言えない。お互いに研鑽を積み議論を重ねるなかで、新たな評価文化を醸成する必要がある。今後連携を深め協力して学園の教育充実に取り組んで頂きたい」との講評があり、学園の一人ひとりの教職員が協力し、学園の伝統と研究成果を継承し充実した教育活動を行っていくことの大切さを熱く語りかけ、本年度研究会を締め括った。

教育方針で理解を深める

平成二十一年度方部別教育懇談会開催

七月四日の仙台、浜通りを皮切りに家族会主催の方部別教育懇談会が郡山、栃木、岩手、福島、会津、県南(白河)の八カ所で開催された。郡山方部会は七月十一日、建学記念講堂に開成学園長代理・山田副学長を始め全教職員が出席して開催された。

武藤会長が挨拶したあと、小池学務部長が本学の教育方針、大学及び短大を卒業するために必要な単位数や出席率について説明した。

田辺学務部長代理からは、本学のアドバイザー制の概要と、夏期休業中の生活について事故に遭わないよう保護者の皆様への協力を呼びかけた。また、江藤就職部長が昨年度の就職は順調だったが今年度は大苦戦が予想されるので、日頃からの情報収集に全力注いでほしいと述べた。

この後、各分科の個別面談に移り、アドバイザーの教授らが保護者の相談に応じた。



挨拶する武藤清隆会長

個性を伸ばし特色を発揮するために

第三十三回中高教育連けい研究会

第三十三回中学校高等学校教育連けい研究会が、六月三十日、「一人ひとりの個性を伸ばし、各人の特色を発揮するために」のテーマで、「中学校と高等学校が互いに連けいし合い、生徒一人ひとりが個性や能力を伸ばし、生涯を通して自己を磨きうる資質を養う教育を目指す」を目的に実現された。

演、及び中高の授業や生徒指導、心の指導等に関して意見を交換し合った。大きな教育の変革期に、中学校と高等学校の六年間を見通した連けい教育の重要性を改めて認識し、今年度の研究会は幕を閉じた。

午前中は各教科の特色ある授業が公開され、その後全体会で、本大学家政学部教授田村修一先生から、「生徒が伸びる、教師が伸びる学校心理学―一人ひとりの生徒を伸ばすチーム援助の実践―」と題し講演があった。生徒の成長を援助するための組織的サポートの必要性とその方法が具体的に示され、示唆に富む講演であった。午後は公開授業と講



本大学家政学部教授 田村修一先生の講演

大学・短大合同説明会開催 平成二十二年入学選抜実施要項発表

本大学の「二十一世紀を担う女子高等教育充実のために」をテーマにした平成二十二年入学選抜実施内容説明会が七月三日、建学記念講堂で開催された。本県を始め東北、北関東、新潟地区の高校から六十八名の進路指導教諭が参加。関口修学部長代理が、建学の精神「尊敬・責任・自由」に基づく本学の教育方針や「芸術鑑賞講座」「教養講座」を継続して開催、知を育てる教育に力をつけていると挨拶した。

参加者は、主任教授からの各学科

概要の説明に耳を傾け、資料に目を通していた。特に来年度の入試から実施される基礎学力調査と面接点数変更に関する質問が集中、盛んにメモする参加者が見受けられた。

さらに、各学科、専攻ごとの個別面談では、選抜入試に係わる具体的な対応や資格取得、就職状況についての質問が多かった。

同時に行われた出身学生との面談会場では、教員から本学での授業や生活環境などを聞き参考としていた。

平成二十二年入学案内概要

◆募集人員

【大学院】

本大学院は、本大学家政学部人間生活学科及び食物栄養学科を基礎に、人間生活学研究所人間生活学専攻の修士課程(三年)、さらに博士(後期)課程(三年)を設けている。

○人間生活学研究所

修士課程一〇名(含昼夜開講制)。

博士(後期)課程二名。

【大学】

家政学部人間生活学科四〇名(生活総合コース・建築デザインコース二〇名・福祉コース二〇名)。家政学部食物栄養学科八〇名。

【大学三学年編入】

本大学では、両学科とも三学年への編入を認めている。募集人員は両学科とも各一〇名だが、人間生活学科では福祉コースは募集しない。短期大学、高等専門学校、専修学校専門課程を卒業、修了または見込みが条件であるが、同等以上の学力があると

認められた者も出願できる。

【短期大学部】

家政科福祉情報専攻

家政科食物栄養専攻

幼児教育学科

生活芸術学科

音楽科

文化学科

【専攻科文化学専攻】

人間の歴史や文化を体系的に学び、総合的な判断力と豊かな人間性を培う。大学評価学位授与機構の審査をパスすると「文学士」の学位を得ることができる。二〇名。

◆選抜方法

推薦生(特待生・指定校・公募)

特別生(専門・総合学科/高等専門

／専修/社会人/高認合格/外国

人留学生/帰国子女)

高大連携生(本附属高校生)

AO生(自己推薦)

一般生(入試センター試験併用可)

◆選抜日程

平成二十二年教育内容等説明会

— 附属高校 —

県内の中学校から進路指導関係の先生方を多数お招きして、平成二十二年の教育内容を説明する会が、建学記念講堂にて開催された。

初めに関口富左校長が「女性の高等教育の普及と向上」をめざして開学した本校の歴史と特性を生かす女子教育の重要性を述べた。

次いで、普通科・音楽科・美術科・食物科の紹介と各学科の特徴や資格取得についての説明があった。

その後、安齋副校長より平成二十二年の本校入学選考事項についての説明があり、さらに大学から山田副学長が郡山女子大学と同短期

大学の概要を説明した。

【本校入学選考の概要】

○募集人員 二八五名(女子のみ)

☆普通科二二〇名(総合学芸コース

六〇名スポーツ健康系コース三〇名

人文学系コース二〇名)

☆音楽科一五名 ☆美術科二〇名

☆食物科四〇名

○選考種類 推薦生(特待生・中高

連携生・AO生)・学力選考生

○出願期間(必着)

特待生 十二月三日～四日

中高連携生 十二月三日～四日

AO生 十二月三日～四日

学力選考生 二十二年一月十三日

(別項参照)

◆AO生選抜日程

1期生募集終了。

2期生エントリー受付期間

9/29(火)～10/19(月)

面接日 10/25(日)

合否通知 10/29(木)

3期生エントリー受付期間(※定員に

達した場合実施しない)

11/4(水)～11/20(金)

面接日 11月28(土)

合否通知 12月3日(木)

また、二十二年から実施される基礎学力調査とは、当該学科に入学した場合に、基本的に身につけていなければならぬ高校までに学習した知識を調査するもの(幼児教育学科は基礎学力調査を含む面接を実施。生活芸術学科、音楽科は面接に代わる)。

指定校推薦生・公募推薦生・高大連携生・AO生は入試で実施される。詳しくは教務課から入学事務部まで

平成22年度 選 抜 等 日 程

	選抜方法	願書受付期間	選抜日	合否通知発送日
大 学	指定校推薦生	10/7(水)～10/21(水)	10/31(土)	11/11(水)
	特待生・特別生Ⅰ期 公募推薦生Ⅰ期	10/7(水)～10/21(水)	11/1(日)	11/11(水)
	高大連携生	10/7(水)～10/21(水)	10/30(金)	11/11(水)
	公募推薦生Ⅱ期 特別生Ⅱ期	11/12(木)～11/30(月)	12/5(土)	12/16(水)
	一般生Ⅰ期	1/7(木)～1/25(月)	2/2(火)	2/12(金)
	一般生Ⅱ期	2/15(月)～2/23(火)	3/5(金)	3/12(金)
短 期 大 学	指定校推薦生	10/7(水)～10/21(水)	10/31(土)	11/11(水)
	特待生・特別生Ⅰ期 公募推薦生Ⅰ期	10/7(水)～10/21(水)	11/1(日)	11/11(水)
	高大連携生	10/7(水)～10/21(水)	10/30(金)	11/11(水)
	公募推薦生Ⅱ期 特別生Ⅱ期	11/12(木)～11/30(月)	12/5(土)～6(日) ※③	12/16(水)
	一般生Ⅰ期	1/7(木)～1/25(月)	2/1(月)	2/12(金)
	一般生Ⅱ期	2/15(月)～2/23(火)	3/4(木)	3/12(金)

※①12/5(土)生活・音楽・文化 12/6(日)情報・食・幼児教育



平成22年度教育内容等説明会

○選考日
特待生 十二月九日(水)
中高連携生 十二月九日(水)
AO生 十二月九日(水)
学力選考生 二十二年一月十九日(火)

よくみる よくきく
よくかんがえて
十月一日から願書受付開始
附属幼稚園

本園は「よくみる よくきく よくかんがえて」を教育目標に掲げ、明るく、素直な、かしこい子どもたちを育てるために、体を鍛え、基本的な生活習慣を身につけ、正しい生活態度を養っている。遠足、誕生会などでの友だち関係も大切にしている。

送迎用のスクールバスも新しくなり、延長保育もある本園の来年度の願書受付は十月一日から。十月二十四日は面接日となっている。

短大・生活芸術科と
向山製作所が
生キャラメル
包装デザイン作成へ

短大・生活芸術科は向山製作所(本社大玉村、織田金也社長)の新規事業の生キャラメルのパッケージ作りを協力した。学生十六人がデザインを作成、織田金也社長等が審査。三点が表彰作品として選ばれ、パレンタインデーやホワイトデー、クリスマスなどの企画商品の包装の原案になる。最優秀賞に斎藤幸恵さん、優秀賞に阿部浩美さん、奨励賞に根本博美さんが決まった。



左から織田社長、優秀賞阿部さん、最優秀賞幸恵さん、奨励賞根本さん、浅野教授

パネル展示で担当教員が 教育内容を説明

大学／人間生活学科

人間生活学科では「生活総合」「福祉」「建築デザイン」の三コースで教育内容を示したパネルを用いて、担当教員が学科の狙い、特色、取得資格、大学院との密接な関係など懇切丁寧に説明した。

その後、各コースで簡単な実験や介護実習室、設計製図室等の見学も行われた。



人間生活学科の授業風景

目標は管理栄養士 学ぶ意欲高まる

大学／食物栄養学科

食物栄養学科では「人々の健康を守る管理栄養士の役割と実習を含む四年間の学科内容」についてのナ

マで模擬授業を行った。管理栄養士国家試験受験についての授業への取り組み方や、学ぶ目的について説明を受けた。



管理栄養士を目指す保護者と学ぶ

オリジナルカード作りで挑戦

短大／家政科福祉情報専攻

「パソコンでオリジナルカードを作ってみよう」「手話によるコミュニケーションのとり方を楽しく学ぼう」の講座で模擬授業を受けた。「手話」では友だち同士で手本を見せ合ったり、和気あいあいの中で授業が進められた。



カード作りを習得する高校生

糖尿病食を体験

短大／家政科食物栄養専攻

「糖尿病食の実験を体験してみよう」がテーマ。四名一組が実習台を囲み、糖尿病食を試作した。メニューは「冷や中華」。麺をゆで、野菜を切り、盛りつけを実習した。在学生は、実習台に一人ずつ配置され作業を手伝った。



糖尿病食を作る

積極的に取り組む参加者

短大／幼児教育学科

多くの参加者は保育士や幼稚園教諭へ目標を固めた生徒。幼稚園や保育所の役割について真剣に質問していた。

また、「保育と心理学を考える」「保育の原点を考える」について模擬授業を受けていた。



歌、リズム遊びを体験する

美への探求

短大／生活芸術科

純粋で鋭い感性と自由な精神で満ちあふれる生活の創造に役立つ学習として「絵画」「彫刻」「デザイン」「CG」

の授業を公開した。参加者はわずかな時間をデッサンやCGアートの試作など美術の様々な分野を体験した。

正規授業での 試験課題曲をレッスン

短大／音楽科

体験授業はピアノと声楽のレッスン。先生が学生にレッスンする様子を熱心に見入っていた。



個人レッスンを見学する

知的授業を体験

短大／文化学科

公開授業では「中世都市から見るヨーロッパ」「縄文土器との対話の講義、中世都市の基本構造と都市機能などについて学んだ。



西洋史の授業を体験

弓道で決勝トーナメント進出

高校・菊池明恵さん

平成二十一年度全国高校総体(2009近畿まほろば総体)が奈良県で開催され、本校弓道部の菊池明恵さんが出場した。予選を四射三中、準決勝を四射皆中という見事な結果で突破し、二十八名で行われた決勝まで進出した。決勝は外した選手から脱落していくという方法で行われ、三本目まで進出したが惜しくも上位入賞はならなかった。

「恋歌抄」を演奏 定期演奏会

高校音楽科、音楽部

七月十八日、本校音楽科、音楽部による第三十八回定期演奏会が建学記念講堂で開催された。音楽部による女声合唱では鈴木操作曲「恋歌抄」全曲を豊かな表現で演奏した。音楽科は各独奏独唱をはじめ、器楽アンサンブルなど、オーディションで選ばれた出演者たちが見事な演奏をした。郡山開成学園オーケストラが最後にオーストラリアの名曲を力強く演奏し聴衆に感動を与えた。



全国大会出場の実力を披露

ドジョウつかみに歓声

附属幼稚園



ドジョウつかみに大盛り

スクールバスが 新しくなりました

附属幼稚園

八月十一日の第二保育期より園児の送迎用のバスが新しくなりました。園児の安全や運行の際の運用を考慮した可愛らしいバス。座席、乗降用ステップなどすべてが園児に合わせて作られており、園児たちもとてもスムーズになれることができた。



人気の新しいスクールバス

特集 私たちの学園 可能性の扉を開く日

オープン'09 キャンパス



オープンキャンパスのオリエンテーション

進学を希望する高校生と保護者、高校教員を対象とした本学の平成二十一年度オープンキャンパスが六月十四日と七月十九日、九月六日の三回にわたり開催された。直接志望学科の先生方からアドバイスを受けられる唯一の機会。東北各県や北関東、新潟などから三千三百人が参加。施設見学、授業体験、個別相談、在学生との懇談会では、先輩から学園生活での体験を直接聞くなど、進学への夢を膨らませていた。各学科が実施した当日の模様を紹介する。

附属高校体験入学会 開催

附属高校の平成二十一年度体験入学会が、八月一日、二日の両日にわたって開催された。今回で十二回を数える体験入学会であるが、年々参加校も多くなり、今年度は郡山市内はもとより、県内外八十校から四百二十四名の中学生や保護者が体験に訪れた。

両日とも天候に恵まれ、会場は意欲にあふれる中学生の熱気にあふれていた。



説明を熱心に聞く参加した中学生

開成式では、関口修理理事長から、「進路選択の一助にしてください」と歓迎の言葉が述べられ、続いて本校の特色ある学科及びコースが美しい映像で紹介された。続いて安齋副校長から本校の特色と学校生活の具体的な説明

があり、さらに平成二十一年度の入学者選考についての説明があった。次いで、安齋副校長が歓迎の挨拶を述べたあと、音楽科・音楽部による美しい歓迎演奏がなされた。

開成式の後、参加者はそれぞれ授業部活動など、希望に応じて体験会場へ移動した。また施設見学を希望する参加者は、本校生徒、教員の案内で本校の施設設備を見学した。グループに分かれて高校の授業や部活動を体験したが、特に音楽科、美術科、食物科の体験では、実習や実技を通して高校の専門的な授業の一端を体で感じることができたようであった。

また部活動体験では高校生の力あふれる演技、演奏にさらに意欲をかき立てられる中学生の姿が見られた。

昼食のあと、音楽科によるミニコンサートに続いて閉成式が行われ、体験入学者を代表して郡山一中の高山里帆さんから「実際に高校生活を体験し興味深かった」という爽やかな挨拶があった。

NEWS 学園ニュース

高校総体で 堂々の十六強入り

バレーボール部

八月三日から奈良県で開催された「2009近畿高校総体」で附属高校バレー部が堂々の十六強入りした。バレー部は四月に就任した高橋監督の指導のもと、持ち味のつな、パレーを展開し、地区予選から一セットも落とさず第一シードの貫禄を見せつけ、二年連続十三度目の出場を果たした。

全国大会予選敗者復活戦では一勝一敗で決勝トーナメントに進出。二回戦では夙川学園(兵庫)を二〇のストレートで破り見事十六強入りした。

三回戦では優勝した東九州龍谷高校(大分)に〇二で敗れ、惜しくもベスト八進出はならなかった。これからの全国私立大会、春高バレーで大いに期待できる戦いだ。



福島県大会で完全優勝を果たした附属高校バレー部

学生ら四十五人が献血協力

大学、短大の学生会協会の献血は六月十七日、大学正門広場で行われた。血液不足解消に少しでも貢献しようと、毎年一回実施している。学生や教職員が休み時間を利用して、二百三十三人、四百三十三人が献血に協力した。



学生たちが協力した献血活動

上位進出ならず

大学弓道部

第五十七回全日本学生弓道大会が八月、名古屋市中で開かれ、本学弓道部も出場したが団体個人戦ともに上位進出ができなかった。



これから期待される大学弓道部

県警・郡山署と協力して KGC安全情報を配信

本学と県警郡山署が連携した地域安全情報の配信が七月五日から始まり、本学の教職員千五百人のパソコンにメールが配信された。



学園長先生を囲んで記念撮影

三同窓会年次総会開催
懇親会で親睦を深める



「KGC安全情報」のメールを確認する学生

大学、短大、高校の三同窓会の総会が八月二十九日、郡山ヒューホテルで開かれた。それぞれ二十一年度の総会を開き今年度の事業計画を決めた。総会の後、三同窓会合同の懇親会が開かれ、百三十名の参加者は学園長先生と恩師を囲み互いに近況を語り親睦を深めた。会場では、附属高校音楽科・音楽部のミニコンサートがあり、盛り上がった。

学校法人 郡山開成学園

平成二十一年度 事業報告

一、法人の概要

○法人名 学校法人郡山開成学園
(創立昭和22年4月22日)
○所在地 福島県郡山市開成三丁目25番2号

○理事長 関口 修
○学務部長 関口 富左
○設置学校名

郡山女子大学大学院
開設・修士課程平成4年4月
博士課程平成8年4月

郡山女子大学
開設・昭和41年4月

郡山女子大学短期大学部
開設・昭和25年4月

郡山女子大学附属高等学校
開設・昭和32年4月

郡山女子大学附属幼稚園
開設・昭和30年4月

○学校学部学科等の入学定員、学生数の状況
(平成20年度平成20年5月1日現在)

○在籍数一覧表①参照
○平成20年度修了卒業生数

○現在までの修了卒業生数

○役員・教職員表②参照
○現役員(理事9人、監事2人、評議員22人)

○理事定数(9人以上12人以内)
○理事長 1人
○理事(学務長) 1人
○理事(常勤) 5人

○評議員定数(21人以上25人以内)
○評議員(非常勤) 2人
○評議員(常勤) 16人
○評議員会(非常勤) 6人

○監事(非常勤) 2人
○監事(常勤) 2人
○監事会 6月、8月、9月、2月

○評議員会 6月、8月、2月
○監事監査 5月28日
○会計士監査 4月、5月、11月

○評議員会 6月、8月、2月
○監事監査 5月28日
○会計士監査 4月、5月、11月

表① 院生・学生・生徒・園児在籍総数[2,231人] 学則等収容定員[3,029人]

学部	入学定員	1年次	2年次	3年次	4年次	合計	収容定員
修士課程	10	2	2	0	0	4	20
博士課程	3	0	0	0	0	0	9
合計	13	2	2	0	0	4	29

学部	入学定員	1年次	2年次	3年次	4年次	合計	収容定員
人間生活学科	50	10	28	30	31	131	220
食物栄養学科	80	10	74	80	86	250	340
合計	130	20	102	110	117	369	560

学部	入学定員	1年次	2年次	3年次	4年次	合計	収容定員
普通科	320	184	203	177	564	1,000	1,000
音楽科	20	10	10	13	33	60	60
美術科	20	14	18	19	51	60	60
食物科	40	31	38	35	104	120	120
合計	400	239	269	244	752	1,240	1,240

表② 教職員

学校別	教員数	職員数	非常勤講師	合計
郡山女子大学	36名	23名	24名	83名
郡山女子大学短期大学部	53名	40名	63名	156名
郡山女子大学附属高等学校	58名	10名	34名	102名
郡山女子大学附属幼稚園	10名	1名	11名	22名
計	157名	74名	132名	363名

平成21年度 学校法人郡山開成学園 学生・生徒・園児在籍数一覧 (5月1日現在)

●院生・学生・生徒・園児在籍総数[2,046人] <学則・校則・園則収容定員数 2,909人>

学部	入学定員	1年次	2年次	3年次	4年次	合計	収容定員
修士課程	10	4	2	0	0	6	20
博士課程	3	0	0	0	0	0	9
合計	13	4	2	0	0	6	29

学部	入学定員	1年次	2年次	3年次	4年次	合計	収容定員
人間生活学科	50	10	34	28	33	127	220
食物栄養学科	80	10	82	75	88	355	340
合計	130	20	116	103	121	460	560

学部	入学定員	1年次	2年次	3年次	4年次	合計	収容定員
普通科	320	138	173	196	507	880	1,000
音楽科	20	13	9	10	32	60	60
美術科	20	13	14	16	43	60	60
食物科	40	39	31	38	108	120	120
合計	320	203	227	260	690	1,220	1,240

学務課実施内容及び教育内容等説明会
3月3日 附属高等学校第50回卒業式
3月24日 附属高等学校新入生説明会
○部活動及び部員等の全国大会出場
第40回全国高等学校バレーボール選抜優勝大会
第8回マーチングバンド全国大会出場
第61回全日本合唱コンクール(銅賞)
第2回声楽アンサンブルコンテスト全国大会
第8回日本インスタンテントコービーオリジナル料理コンクール全国大会(協会長賞)
第29回牛乳乳製品利用料理コンクール全国大会(佳作)
第9回シュード料理コンクール全国大会(入賞)
第8回日本インスタンテントコービーオリジナル料理コンクール全国大会(協会長賞)
第29回牛乳乳製品利用料理コンクール全国大会(佳作)
第9回シュード料理コンクール全国大会(入賞)

3月3日 附属高等学校第50回卒業式
3月24日 附属高等学校新入生説明会
○部活動及び部員等の全国大会出場
第40回全国高等学校バレーボール選抜優勝大会
第8回マーチングバンド全国大会出場
第61回全日本合唱コンクール(銅賞)
第2回声楽アンサンブルコンテスト全国大会
第8回日本インスタンテントコービーオリジナル料理コンクール全国大会(協会長賞)
第29回牛乳乳製品利用料理コンクール全国大会(佳作)
第9回シュード料理コンクール全国大会(入賞)
第8回日本インスタンテントコービーオリジナル料理コンクール全国大会(協会長賞)
第29回牛乳乳製品利用料理コンクール全国大会(佳作)
第9回シュード料理コンクール全国大会(入賞)

警備員を増員し、特に下校時や部活動場りの学生生徒の安全に努めた。

②交通安全防止(安全運転等の啓発)

③避難訓練(大学短大1回、高校1回、幼稚園2回、家庭寮2回)

④防災機能強化の推進モデル事業

※施設関係

①耐震補強工事

②附属高等学校管理棟・機械棟耐震補強工事

③家庭寮2号館耐震補強工事

④家庭寮2号館食堂改修工事

学校法人郡山開成学園の平成二十年度決算について、東邦監査法人、他一名の監査を受け、理事会・評議員会で報告、決定されましたので、その概要を報告致します。

平成二十年度資金収支計算書において、資金収入合計は、7,108,080千円となり、予算より、34,820千円下回りました。これは、主として、前受金収入、雑収入、その他の収入、補助金収入及び資産運用収入他が見込みを上回ったが、資金収入調整勘定、学生生徒等納付金収入及び寄付金収入他が予算比下回ったためです。

資金支出合計は、教育研究経費支出、人件費支出及び施設関係支出が予算より上回ったが、資産運用支出、設備関係支出及び管理経費支出他は、389,747千円予算比下回ったことにより、5,421,617千円となりました。

この結果、次年度繰越金が1,686,463千円となり、予算より354,927千円増となりました。

平成二十年度消費収支計算書において、消費収入合計より消費支出合計が大きいので、当年度消費支出超過額は、778,169千円となりました。

その主な理由は、家庭寮II号館耐震補強工事、高校管理棟耐震補強工事等により、基本金組入額が増加したことによるものであります。

従って、平成二十年度の消費収支は、当年度消費支出超過額778,169千円になりましたが、平成十九年度決算の繰越消費支出超過額2,347,980千円を加え、翌年度繰越消費支出額は、3,126,148千円となりました。

平成二十年度 決算報告

高校管理棟昇降機設置

③施設設備の拡充

①講堂音響設備更新

②高校放送室録音用防音設備

③専門教育用コンピュータシステム、ソフトウェア

※環境関係

環境対策として、エコアクション21認証登録を2年前に行い、その更新審査が今年度行われ、E.A.21が要求する事項を基本的にクリアし、ガイドラインに適合との評価を受けた。

① 資金収支計算書

資金収支計算について、その主な内容をご報告いたします。
平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

(資金収入の部)			
項目	予算	決算	増減
学生生徒等納付金収入	1,707,000,000	1,750,048,267	43,048,267
手数料収入	30,000,000	30,742,186	742,186
寄付金収入	25,000,000	18,418,480	(6,581,520)
補助金収入	947,000,000	874,950,333	(72,049,667)
国庫補助金収入	500,000,000	504,065,000	4,065,000
地方公共団体(県)補助金収入	340,000,000	348,882,133	8,882,133
地方公共団体(市)補助金収入	4,000,000	4,063,200	63,200
資産運用収入	100,000,000	108,965,009	8,965,009
資産売却収入	100,000	0	(100,000)
雑収入	107,000,000	105,848,100	(1,151,900)
雑収入	345,000,000	400,745,887	55,745,887
前受金収入	480,000,000	526,191,300	46,191,300
その他の収入	348,200,175	306,542,359	(41,657,816)
資金収入総額	△ 906,000,000	△ 1,017,881,816	(111,881,816)
前年度繰越金収入	3,916,699,825	3,916,699,825	0
資金収入の部 合計	7,142,000,000	7,108,080,100	(33,919,900)

国庫補助金収入が足込みを上回りました。

(資金支出の部)			
項目	予算	決算	増減
人件費支出	2,364,770,000	2,376,881,982	12,111,982
教育研究経費支出	466,730,000	523,915,969	57,185,969
施設関係支出	147,000,000	136,549,351	(10,450,649)
設備関係支出	763,584,000	763,728,834	144,834
管理経費支出	110,680,000	26,680,581	(83,999,419)
資産運用支出	100,000,000	1,430,744,397	1,330,744,397
その他の支出	178,589,832	177,736,242	(853,590)
予備費	7,800,000	—	(7,800,000)
資金支出総額	△ 14,788,832	△ 17,529,729	(2,740,897)
次年度繰越金支出	1,301,538,000	1,686,463,111	384,925,111
資金支出の部 合計	7,142,000,000	7,108,080,100	(33,919,900)

高校管理棟、家庭寮2号館の耐震補強工事を主に施工しました。

前年度より1年以上の長期にわたる資金収支計算書の支出が1,400,000,000円ありました。

② 消費収支計算書

消費収支計算について、その主な内容をご報告いたします。
平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

(消費収入の部)			
項目	予算	決算	増減
学生生徒等納付金収入	1,707,000,000	1,750,048,267	43,048,267
手数料収入	30,000,000	30,742,186	742,186
寄付金収入	25,000,000	18,418,480	(6,581,520)
補助金収入	947,000,000	874,950,333	(72,049,667)
国庫補助金収入	500,000,000	504,065,000	4,065,000
地方公共団体(県)補助金収入	340,000,000	348,882,133	8,882,133
地方公共団体(市)補助金収入	4,000,000	4,063,200	63,200
資産運用収入	100,000,000	108,965,009	8,965,009
資産売却収入	100,000	0	(100,000)
雑収入	107,000,000	105,848,100	(1,151,900)
雑収入	345,000,000	400,745,887	55,745,887
前受金収入	480,000,000	526,191,300	46,191,300
その他の収入	348,200,175	306,542,359	(41,657,816)
消費収入合計	△ 906,000,000	△ 1,017,881,816	(111,881,816)
前年度繰越金収入	3,916,699,825	3,916,699,825	0
消費収入の部 合計	2,346,898,000	2,916,792,867	569,894,867

主に補助金と雑収入が足込みを上回ったことにより、消費収入は予算を上回りました。

主なものとして、家庭寮2号館耐震補強工事、高校管理棟耐震補強工事がありました。

③ 貸借対照表

貸借対照表について、その主な内容をご報告いたします。
平成21年3月31現在

(資産の部)			
項目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	11,397,806,888	9,887,173,957	1,510,632,931
有形固定資産	8,837,845,105	8,285,443,488	552,401,617
その他の固定資産	2,560,000,000	1,601,730,469	958,269,531
流動資産	2,126,148,884	4,077,828,830	(1,951,679,946)
資産の部合計	13,523,955,772	13,965,002,787	(441,047,015)
(負債の部)			
項目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	1,120,765,017	1,187,947,387	(67,182,370)
流動負債	894,668,815	766,882,832	127,785,983
負債の部合計	1,815,433,832	1,954,830,219	(139,396,387)
(基本金の部)			
項目	本年度末	前年度末	増減
第1号基本金	14,587,867,814	13,902,253,816	685,613,998
第4号基本金	246,000,000	246,000,000	0
基本金の部合計	14,833,867,814	14,148,253,816	685,613,998
(消費収支差額の部)			
項目	本年度末	前年度末	増減
前年度繰越金消費収支差額	△ 3,126,148,884	△ 2,347,980,000	△ 778,168,884
消費収支差額の部合計	△ 3,126,148,884	△ 2,347,980,000	△ 778,168,884
(純資産の部)			
項目	本年度末	前年度末	増減
負債の部、基本金及び消費収支差額の部合計	13,523,955,772	13,745,103,787	(221,147,915)

備考			
正誤差	11,707,708,880	11,806,273,786	△ 98,564,906
〔正誤差＝負債－負債〕			

減価償却の累計額	5,947,057,828	5,637,854,701	309,203,127
----------	---------------	---------------	-------------

(消費支出の部)			
項目	予算	決算	増減
人件費	2,364,770,000	2,376,881,982	12,111,982
教育研究経費	466,730,000	523,915,969	57,185,969
管理経費	190,000,000	141,410,079	48,589,921
資産処分費	1,000,000	1,295,000	(295,000)
予備費	1,000,000	—	1,000,000
消費支出の部合計	3,962,500,000	3,987,991,271	(25,491,271)
前年度繰越金消費支出超過額	1,015,964,000	778,168,884	237,795,116
前年度繰越金消費支出超過額	2,347,980,000	2,347,980,000	0
前年度繰越金消費支出超過額	3,364,544,000	3,126,148,884	238,395,116

主に賃借費等で削減した為です。

④ 財産目録総括表

財産目録について、その主な内容をご報告いたします。
平成21年3月31日現在

項目	金額	備考
基本財産	8,646,193,987	
土地	181,266,304	2,682,288,819
建物	50,943,504	4,967,111,092
構築物	302,6	175,801,225
教育研究用備品	12,780,6	204,383,721
その他の機械器具	760,6	18,032,148
図書	148,112冊	488,377,876
車両	5台	848,830
水運用船舶等		4,381,305
船舶等		980,388
電気加入権		2,818,466
運用財産	4,078,827,905	
現金・預金	1,686,463,111	
有価証券	700,000,000	
債権	8,351,400	
貸付金	1,466,000,000	
貸付金(貸付金)	534,754,784	
貸付金(貸付金)	118,273,405	
未収入金	427,878,816	
前払金	1,158,310	
その他の資産	500,000	
負債合計	13,523,955,772	
固定負債	1,120,765,017	
流動負債	1,120,765,017	
流動負債	894,668,815	
未払金	17,508,998	
前受金	526,191,300	
前払金	148,848,946	
負債合計	1,815,433,832	
繰上り資産	11,707,708,980	

第百六十五回芸術鑑賞講座

チェコ・フィルハーモニー・ソリスティの演奏に感動

最高の弦の奏者が揃う

平成二十一年度祝入学第百六十五回芸術鑑賞講座は「チェコ・フィルハーモニー・ソリスティの演奏会」。チェコ・フィルハーモニーの六名に、さらにチェコ・フィルハーモニーの六名の弦奏者を加えた特別編成のアンサンブル。六月十日は高校の部、十一日は大学、短大の部が開催された。

前半は、モーツァルトの「ディヴェルティメント」長調K.136、「ドヴォルザークの「弦楽セレナード」ホ長調OP.22」の一曲。

後半は渡辺治子さんのチェンバロが加わってヴィヴァルディのヴァイオリン協奏曲作品八番から「四季」が演奏された。

「四季」では、馴染みの旋律で始まる春の導入部からストリングスの世界に導かれ、情緒豊かに美しく展開する弦の流れに身をゆだねる学生、生徒。四季折々の情景を心に描きながら最高の芸術に触れ余韻を残した。

なお、六重奏団は「〇〇四年五月、第百十一回講座で公演している。



学生、生徒を魅了したチェコ・フィルハーモニー・ソリスティの演奏

第百六十六回芸術鑑賞講座

精巧大型人形劇

「三国志」を鑑賞

今回は日本の劇団「影法師」と中国湖南省の人形劇団「皮影木偶芸術劇院」が共同制作した精巧大型人形劇「三国志」を鑑賞した。

中国の天下統一を狙う曹操、孫権、劉備の戦いが精巧に制作された大型人形によって表現された。迫力あるステージに大きな拍手が送られた。



図形彫刻される三国志の名場面

学園先生から素敵な句が！

家庭寮七夕会

恒例の七夕飾りが七月四日に行われた。一、二、三号館の玄関に大きな若竹が取り付けられると寮生一人一人の願いを込めた短冊や、可愛らしい飾りで一杯になった。

学園先生からは「七夕に 友と未来を 語りけり」という素敵な句が寄せられ、寮生は感激に浸っていた。就職のこと、進学のこと、友達や家族への思いを込めた願いは、夜空の星に届いたことでしょうか。



寮生の願いは？

学校長賞は三年食物科

高校合唱コンクールで

第三十五回校内合唱コンクールが六月二十五日建学記念講堂で行われた。全校六百八十九人が参加。「未来へ」や「春に」など見事なハーモニーを披露した。

コンクール終了後、音楽部と音楽科によるミニコンサートも開催された。

審査の結果は次のとおり。

- 金賞 三年三組
- 金賞 三年六組
- 優秀賞 一年四組
- 一年三組
- 二年三組
- 二年六組



クラスメイトと心は一つ

歯の健康フェアで発表

高校食物科

六月四日からの歯の衛生週間になんだ郡山歯科医師会主催「歯の健康フェア」が六月七日、郡山駅前ビッグアイ六階の市民ふれあいプラザを会場に開催された。

昨年に続いて本校食物科三年生三十八名がフェアに参加し「エコー歯」による食事・歯を丈夫にする食事」をテーマに、そしてよく噛むことによる唾液の分泌と食べ物の消化吸収について主に牛乳や乳製品、小魚を使った簡単料理十三品を料理見本とパネルの展示で紹介した。

約一千名の来場者は噛むことの大切さ、歯の健康を認識しながら生徒たちの発表を見入っていた。



歯の健康フェア

毛さん

三三飛び板飛び込みで四位

関東選手権飛び込み競技大会中国からの留学生、大学人間生活学科三年の毛文輝さんが七月十一日から開催された第三十九回関東選手権飛び込み競技大会で大活躍。

三三飛び板飛び込みで四位入賞、高飛び込み、一三の飛び板飛び込みでもそれぞれ五位と二位に入賞。また、同科四年の三浦薫さんも高飛び込みで十六位、三三飛び板飛び込みで十七位と健闘。二十一年度日本学生選手権への出場権を獲得した。



活躍が賞状される毛さん(左)と三浦さん

世界百名山

白川 義員

サガルマータ東壁(エベレスト山、チョモランマ)



白川義員氏は、一九三五年愛媛県生まれ。日本大学芸術学部写真科を卒業。ニッポン放送、フジテレビをへて独立。「地球再発見」による人間性復活」をライフワークとして自然の姿を撮り続ける。シリーズとしてこれまで「アルプス」「ヒマラヤ」「アメリカ大陸」「南極大陸」「世界百名山」を収めた。これらの作品に対して毎日芸術賞、芸術選奨文部大臣賞、日本芸術大賞が贈られた。第百五十二回芸術鑑賞講座として展示された中から学園所有の「サガルマータ東壁」を紹介する。

木もれ陽

ある時、東京の満員電車の中でほとほと疲れてけんなりして姿勢も悪く漫然と立っていた私は、ある光景に何となく立ち止まるな目を向けていた。ある女性が端の座席に窮屈そうにしながらも一心に読書をしていたのである。しかし、私の目がその姿から離れなかつたのは、丁度正面だったとか何を読んでいるのかわからず知るとか、そのような理由からではなく、毅然たる周囲とは厳然と一線を画す不動な姿勢でひたむきに読書に打ち込むその異様なまでの様子からであった。それは無心で座席を占めている如くであった。しかし、まもなくして気付いた。彼女の右手の指がひたすらページの上の活字を追っていることに。同時に顔も指と同じ方向に同じ速度で移動をくり返していた。更に驚いたのは、その読書の速さである。ほとんど私達と同じか、いや、もっと速かつたかも知れない。

左手は座席の横の取っ手をしっかりと握り、そこには杖が立てかけられてあった。まだ三十代かと思われるその人のこれまでの努力を思うと、私はだらけた姿勢を正さなければならなかった。その時、日本点字図書館普及の父と称えられた本間一夫氏の「指と耳で読む」日本点字図書館と私(岩波新書)の中の、自らも盲目である氏がハセン病患者さん達の施設を訪問したところを思い出していた。ハセン病が進み視力を失った患者さん達の指もやがて破壊され、唯一の楽しみともいえる点字読書さえ出来なくなる。しかし、それでも、それからは唇や舌で点字を追って読書に向っていくというのであった。

(均)

本学所蔵 紙上美術展 59

白川 義員